

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 諸星常平 幹事 瀬戸 誠 会報委員長 西村隆之



奉仕を通じて

平和を

2012年～2013年度国際ロータリー会長
田中 作次

第1298回例会 2012年8月16日(木)(晴)

==ガバナー公式訪問==

司会 飯田隆明副幹事

点鐘 諸星常平会長

合唱 「それこそロータリー」(梅原正美君)

ビジター紹介 菅原光志第2780地区ガバナー(鎌倉)

遠藤郷平第7Gガバナー補佐 萩原庸嘉第7G幹事(伊勢原)

和田俊弘様(オブザーバー)

内容 報国寺の竹寺を拝観～川端康成の小説「山の音」を感じ、北鎌倉の「浄智寺」へ座談体験。

・地区指導者育成セミナーのご案内

研修日時 10/20(土) 14:00登録

研修場所 鎌倉プリンスホテル「バンケットホール」

2、職業奉仕セミナー開催要領

日時 9/15(土) 14:00～

場所 第一相澤ビル6F「会議室」

3、「職業奉仕月間」(10月)卓話について

4、「R財団月間」(11月)卓話について

会長報告

○ 本日はガバナー公式訪問です。菅原ガバナー、ご指導宜しくお願い致します。例会終了後のクラブ協議会(懇談会)までお残り頂き、ガバナーとお話をして下さい。

○ 先週オブザーバーとして例会出席された佐藤利枝さんが入会予定です。本日は和田俊弘さんがオブザーバーとして例会に出席して下さいます

○ ガバナー事務所より

1、2012-13年度第2780地区 地区大会について

開催場所 10/20(土)・21(日)

場所 鎌倉プリンスホテル/

県立七里ガ浜高等学校

ホスト 鎌倉RC

・エスカッション《鎌倉散策・座禅会》のご案内

日時 10/21(日) 8:30～11:30

参加費 無料(地区大会登録済みの方)

理事会報告

○ ガバナー公式訪問について

詳細を打ち合わせした。

→了承

○ 8/21(火)少年野球招待試合について

・予算別紙承認

・日程について別紙プログラム通り承認

→承認

幹事報告

[受付文書]

○ 米山記念奨学会より ハイライトよねやま149

[例会変更] 寒川 茅ヶ崎

会員数	40名
出席数	29名
出席率	72.50%
前々回の修正	87.50%

メイクアップ	[事前] 高橋(幸)君 三留君(秦野)
	[事後] 桐山君(地区)

本日のプログラム	8月23日→21(火)～22(水)
	○ 少年野球招待試合

次週のプログラム	8月30日
	○ クラブ協議会 地区委員報告

クラブを活性化しようとするならば、いくら会長が「激」とばしても活性化には繋がりません。それはひとり一人の会員が自覚「やる気」をもつことです。自覚を促すにはまず、現在抱えているロータリーの問題、地区、クラブの問題を理解してもらうことから始めなければなりません。

- 例えば 「クラブ会員増強・維持」
「魅力ある奉仕活動のプログラム・計画の立案」
「例会の重要性と多様性の理解」
「若い会員の必要性」
「ロータリー情報の重要性」

そして**ロータリーのこころ**等、理解していただき活動していけば、活性化に繋がっていくことでしょう・

ロータリーのこころとは何でしょうか。綱領で強調されている「奉仕の理想」と「親睦」であります。ロータリーは大きく変革しております。しかし変わってはならないものがあります。それはロータリーの両輪といわれておる**奉仕の理想と親睦**であります。

奉仕の理想は時たま「サービスの理念」と言われますが、さておきロータリーには二つの奉仕理念があり、そのひとつは職業奉仕の理念であり「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」であり、もうひとつは人道的奉仕活動の理念であり「他人のことを思い遣り、他人の為につくす」ということです。

親睦とはどのような事なのでしょう、お互いに良く知りあうこと、そしてお互いが尊敬し合えるようになることであり、そしてお互いに「相手の身になって考える」という修練を積むことではないでしょうか。

「ロータリーの親睦は、クラブの中にロータリーと言う奉仕の心が、すくすくと育っていきけるクラブの土壌を作る事であって、単なる親睦で終わってしまってはならない。」従いまして、本当の意味でクラブの親睦が出来ているクラブは、ベテランロータリアンと新人ロータリアンとの間は極めて良い関係が保たれており、新人は先輩の意見をよく拝聴し、一方先輩も折に触れ後輩の指導にあたっております。我がクラブは、古参の方々が威張っていて、我々若い者は隅の方にいるしかないとか、逆に、ロータリーも知らないくせに、若い者が適当にやっていると会長幹事をいじめるとか等の苦情も耳にしますが、本当の親睦が行われていれ

ば、クラブ全体がロータリーの奉仕の理想に向って、一丸となって活動され元気なクラブになることでしょう。

オリンピックの水泳競技をテレビで見ていると、思った事があります。背泳ぎの入江選手が銀メダルをとりスピーチした内容です「銀メダルは私がとったものではありません。27名のチームメイトがチームの絆、仲間意識があり普段からの応援や協力があればこそ、まして当日客席から声が出なくなるほどの声援をされていて下さるからです」仲間意識で「メドレーリレーは必ず良い成績で終わりますよ」とおっしゃってました。

結果、男性は銀メダル、女性は銅メダルをとりました。水泳チームとしては近年にない 11 個のメダルを獲得したのです・まさにチームの絆と仲間意識の勝利だと思います。

このことはロータリークラブに当てはまる事が出来ると思います。

ロータリークラブは会員がクラブチームの絆、仲間意識をひとり一人がもち「人の為に生きよう」「人の為に何かしよう」そして「自分の生き方を決めよう」の考えのもとにクラブで活動していくのです。そして、仲間が（友達）でき仲間意識が出来てくるのです。さらに、地区に、国に、世界にと広がって行くのです。ですからロータリーは107年続き、150年200年と続いていかなければなりません。それがロータリーの魅力です。

私にとってロータリーは「人生の勉強の場」でありこの歳になってもガバナーとしての責務を果たす目標があるということは、大変素晴らしいことで、各クラブの公式訪問が、始めてお会いする方も、久しぶりにお会いする方もおり、楽しくて、楽しくてたまりません。おおいにロータリーを楽しみ、元気に日々を送らせていただき感謝しております。

私の好きな言葉

高杉晋作「おもしろき こともなき世を おもしろく
すみなしものは 心なりけり」

(世の中見方を変えてみればいやなことも良くなる)

「ロータリーの友」「ガバナー月信」を読んで下さい。

懇談会

◎ 司会 菅原光志ガバナー

意見発表者

- 1、古谷スミ子さん
- 2、伊藤彩夜加さん
- 3、中島賢治君
- 4、河野治男君
- 5、木村真澄さん
- 6、北村まり子さん
- 7、淵脇美代子さん
- 8、北村俊和君
- 9、神崎達朗君
- 10、大屋富茂君
- 11、兒玉秀夫君



以上、菅原ガバナーの司会で各人がロータリーについて
思いを述べ、アドバイスを頂きました。

